電気洗濯機（家庭用）
据付説明書

設置の手順（もくじ）

据え付けをされるかたへ

●製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく据え付けてください。
●据え付け終了後、14、15ページの「チェック項目」で確認してください。
●据え付け終了後、試運転（16ページ）を必ず実施してください。
●この据付説明書は据え付け終了後、お客様にお渡しください。

お客様へ

●この据付説明書は、据え付け後も「取扱説明書」と共に大切に保管してください。
（引っ越しや排水口の点検など、本体を移動するときに必要です）

日本国内専用
Use only in Japan

1. 本体運搬のご注意

■本体前面にヒザを当てて運ばないでください。

（外箱前面が変形するおそれがあります）



■衣類投入口を持って運ばないでください。

（プラスチック部品が破損するおそれがあります）

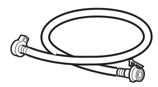
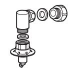
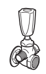
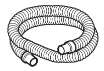
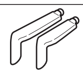
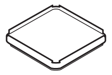
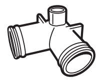
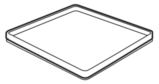
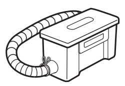


■本体を引きずって移動しないでください。

（床を傷つけたり、脚ゴムがはずれたりすることがあります。また、運転中に振動・異常音がするおそれがあります）



2. 別売部品（据付関係）

こんなときに	部品名			部品コード・形名
給水ホースを延長したいとき ＊付属品の給水ホースに継ぎたして使用してください。	給水延長ホース	長さ0.5m		42040662
		長さ　1m		42040663
		長さ　2m		42040664
		長さ　5m		42040665
自在水栓、万能ホーム水栓にホース継手を取り付けるとき	給水栓ジョイント			CB-J6
洗濯機専用に水栓を設置したいとき	分岐水栓			JB-11
排水ホースを延長したいとき	排水延長ホース 長さ1.2m			42040679
排水口が洗濯機の下にあるとき	真下排水パイプ	長さ254mm		THP-2
		長さ438mm		THP-3
排水口が洗濯機の下にあるとき ＊台付き防水パンでない場合は、2セット必要です。	高さ調整板 高さ15mm			TW-AS3
衣類乾燥機の排水ホースと洗濯機の排水ホースをつなげたいとき	排水ジョイントセット 付属品：衣類乾燥機用排水ホース1本（1.5m） 排水ホースバンド1個（洗濯機用）			DJS-1
	排水継手1 （真下排水パイプ使用時）			42041112
衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたにあたるとき	乾燥機用S字フック			42018326
据付場所に防水パンがないとき ＊気温が高く水温が低い場合、洗濯機に露がついて（結露）床面をぬらすことがあります。	洗濯機トレー 幅　540(536) mm 奥行　540(536) mm 高さ　10mm （　）内は内寸			TZ-10
排水口の糸くずが気になるとき	糸くずフィルターボックス 付属品：排水ホース1本（長さ0.75m） 排水ホースバンド2個			THB-100

3. 設置場所の確認

⚠警告

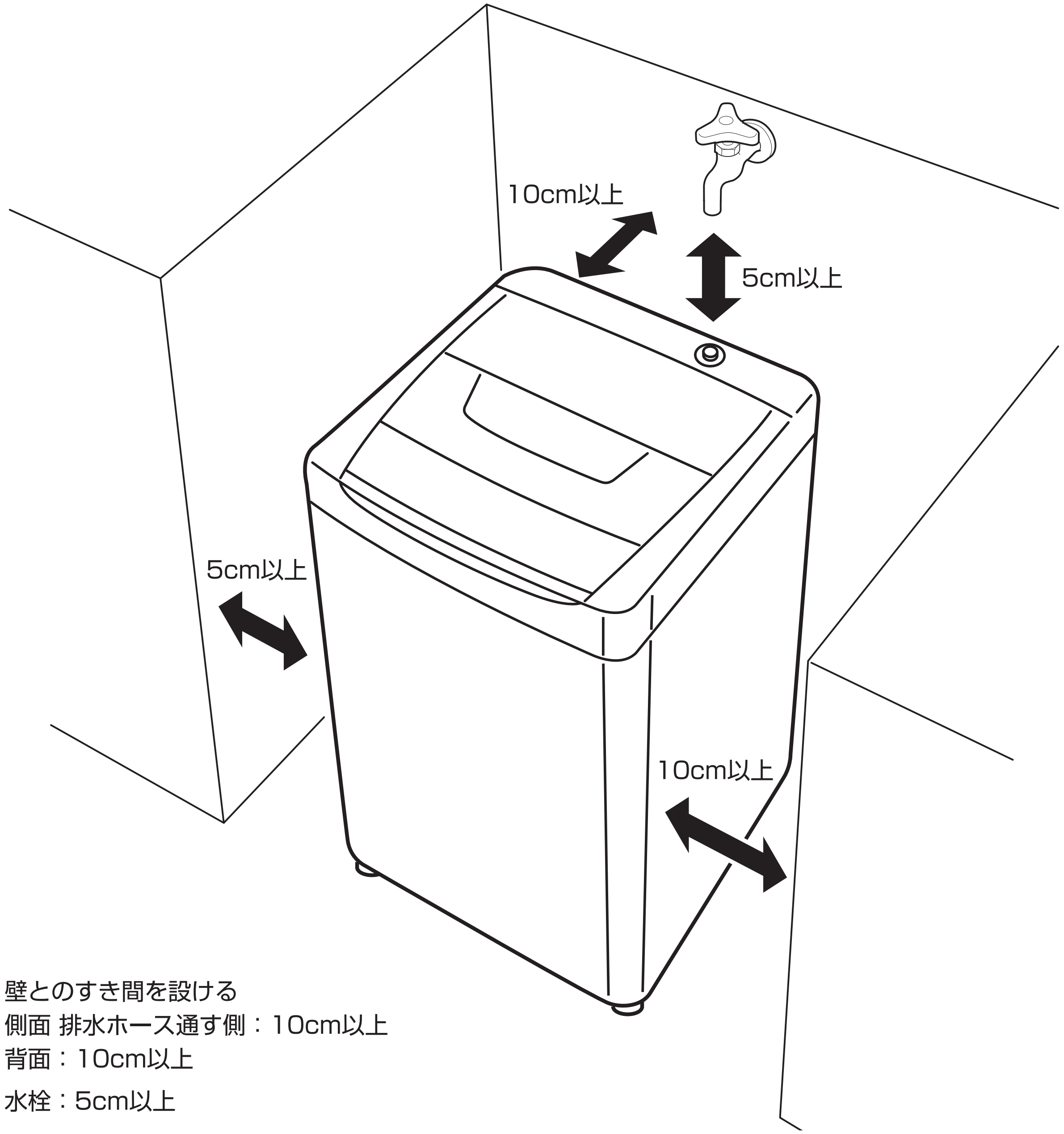
水場での使用禁止

水のかかりやすい場所や、湿気が多い場所に置かない
（漏電による火災・感電の原因）

・ベランダ、庭など
（風雨にさらされる）
・浴室（湿気が多い）

■据え付けに必要な寸法を確認します。

本体は前面や上面を50cm以上開放して、背面と側面を壁から下図の寸法以上離します。
壁面とのすき間が狭いと、壁との接触による異常音の原因となります。
排水ホースを通す側の側面は、壁から10cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

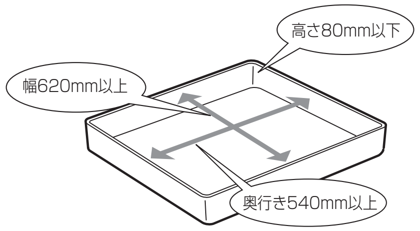


壁とのすき間を設ける
側面 排水ホース通す側：10cm以上
背面：10cm以上
水栓：5cm以上

3. 設置場所の確認（つづき）

■防水パンの寸法を確認します。

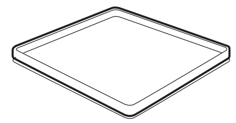
防水パンに設置する場合は、内寸の幅620mm以上、奥行き540mm以上が必要です。



BL規格防水パン

●防水パンがなく木床などに直接据え付ける場合

室温が低いときや、湿度が高いときに冷水などを使って洗濯する場合に、洗濯機の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。別売の「洗濯機トレー（TZ−10）」のご使用をおすすめします。



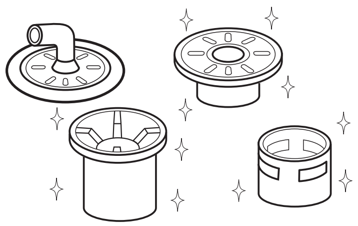
洗濯機トレー（TZ-10）

幅540（536）mm×奥行き540（536）mm×高さ10mm

（　）内は内寸

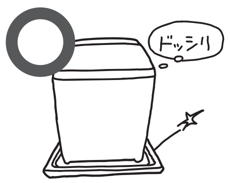
■排水口を確認します。

排水ホースを取り付ける前に、排水口を掃除してください。



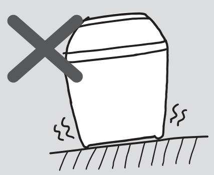
排水口には糸くずやよごれがたまりやすいものです。放置しておくと、水漏れや排水不良、悪臭の原因になります。

■安定した水平な床に据え付けてください。



次の場所には据え付けないでください。

- 冬季に凍結するおそれがある場所
- 直射日光のあたる場所
  プラスチック部品の色や形が変わることがあります。
- 発熱器具の近くや有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所
- ベランダや強度の弱い床、タイルの床などのすべりやすい場所
  振動や騒音が大きくなったり、途中で止まる原因になります。
- ブロックや角材、レンガの上など不安定な場所
  振動や騒音が大きくなります。
- 傾いた床の上



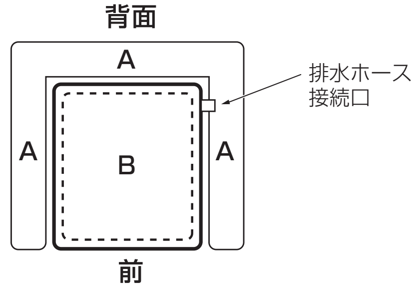
- デコボコな床の上



4. 排水口の位置と設置方法

■排水口の位置を確認します。

同時にエルボ（接続用L字継手）の有無を確認します。



A ： 排水口が本体の右側、左側または後側にある場合

そのまま排水ホースを排水口に接続します。 P.6

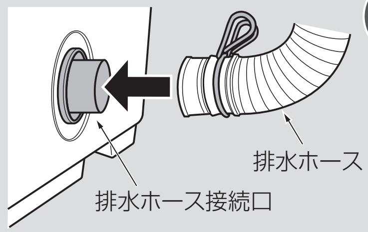
B ： 排水口が本体の下にある場合

真下排水パイプと高さ調整板を使用して排水口に接続します。 P.7

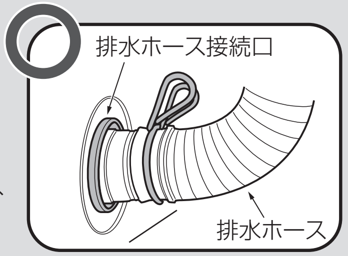
■排水ホースを本体に取り付けます。

内部ホースの左右交換はできません。

1 付属の排水ホースを、本体右側下部の排水ホース接続口に取り付ける



● 排水ホースがつぶれないように取り付けてください。

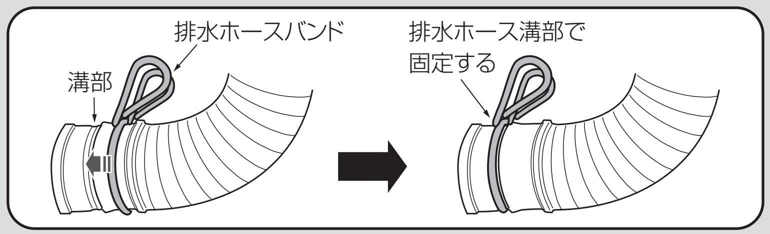


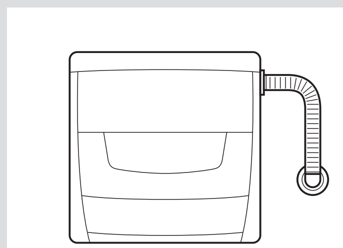
● 排水ホースを排水ホース接続口の根元まで差し込みます。



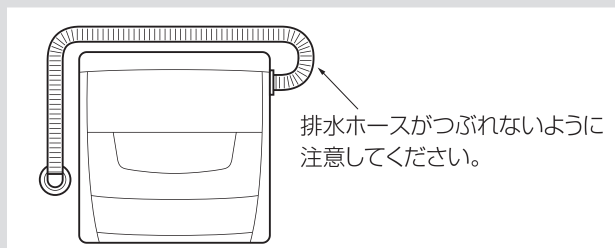
2 排水ホースバンドで固定する

● 排水ホース取り付け後、排水ホースバンドを排水ホース溝部で固定します。





排水口が右側にある場合



排水口が左側にある場合

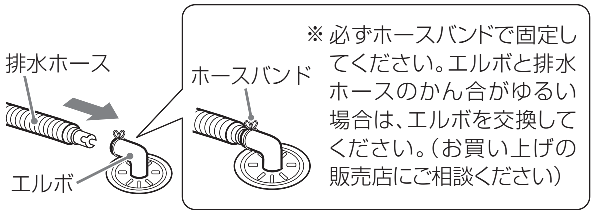
● 排水ホースの向きを変える場合は、一度排水ホースを抜いてから、差し込み直してください。

4. 排水口の位置と設置方法(つづき)

A ： 排水口が本体の右側、左側または後側にある場合

■排水口への取り付け

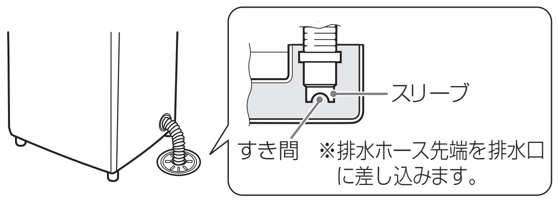
〈排水口にエルボがある場合〉
エルボに排水ホースを差し込みます。



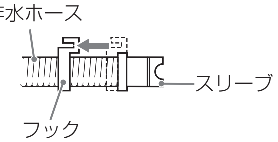
お願い ●ホースのこすれに注意してください。またホースを本体の下に入れないでください。ホースに穴が開くおそれがあります。

〈排水口にエルボがない場合〉
排水ホースの先端を排水口に差し込みます。

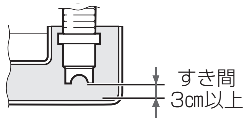
●排水ホースの先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるものです。はずさないでください。



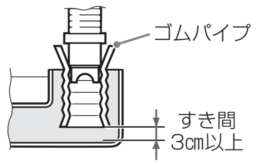
●排水ホースを排水口に差し込むときは、フックをずらします。



●ホースの先と排水口の底に3cm以上のすき間を設けてください。

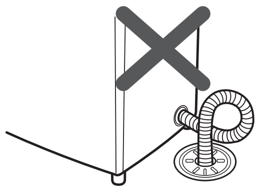


●防水パンの場合、ゴムパイプの先に3cm以上のすき間を設けてください。

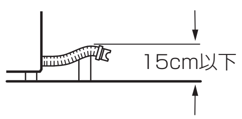


■排水ホースの処理

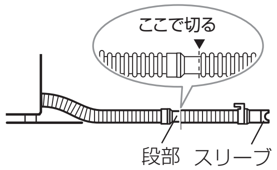
●引き回しによって、排水ホースが途中でよじれたり、高くならないようにしてください。



●敷居などで、排水ホースが高くなると排水できないことがあります。15cm以下にしてください。

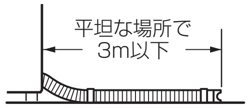


●ホースが長いときは、ホースを段部で切断し、ホース先端のスリーブを切り口に差し換えてください。



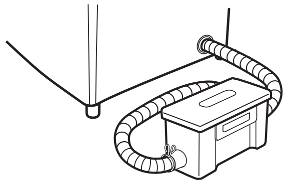
■排水ホースの延長

●排水ホースを延長したいときは別売の「排水延長ホース(部品コード42040679)」をお使いください。
平坦な場所で3mまで延長できます。
●ホースは水が流れやすい平坦な場所に置いてください。



■排水口の糸くずが気になるときは

●別売の「糸くずフィルターボックス(THB-100)」をお使いください。
排水口の詰まりを防ぎます。



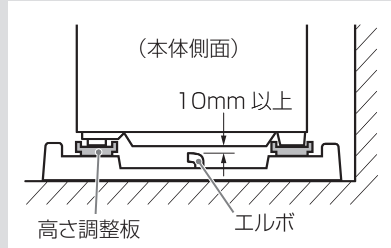
B ： 排水口が本体の下にある場合

■排水口への取り付け

1 〈排水口にエルボがある場合〉
エルボの上面と本体底面が10mm以上確保できるように別売の「高さ調整板(TW-AS3)」を使って高さを調整する

● 台付き防水パンでない場合は、高さ調整板が2枚必要です。

＊エルボの上面と本体底面が10mm以上確保できない場合は、エルボを取りはずし「真下排水パイプ」を準備します。



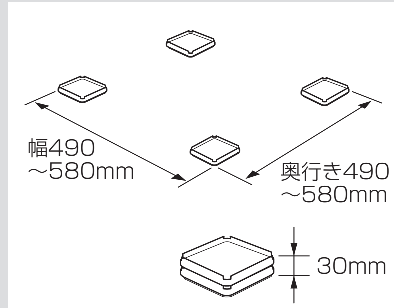
〈排水口にエルボがない場合〉
別売の「真下排水パイプ」と「高さ調整板(TW-AS3)」を使って排水口に接続する

〈高さ調整板を使う場合〉

1 高さ調整板を貼り付ける床面、または防水パン上の水、ホコリなどをきれいに拭き取る

2 高さ調整板の両面テープの紙をはがしてから床面、または防水パン上に固定する

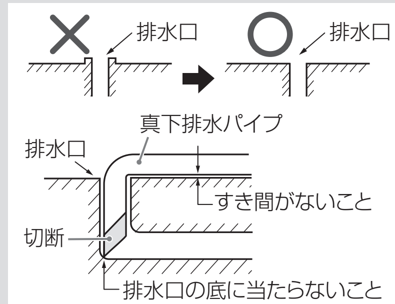
● 高さ調整板の外周壁内寸が、幅490mm～580mm、奥行き490mm～580mmの位置に固定してください。
● 高さ調整板は2枚まで重ねることができます。設置場所に応じて調整してください(1枚で15mm、2枚で30mmの高さ調節が可能です)。



お願い ● 高さ調整板は、3枚以上重ねないでください。

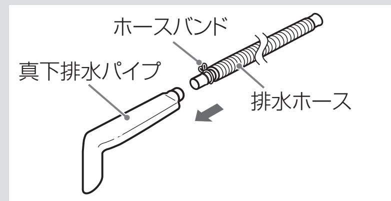
2 真下排水パイプを排水口の深さに合わせて調整する

● 真下排水パイプは、設置場所に合わせた長さのものをご用意ください。 P.2
● 排水口が床面より上に出ているときは、床面と同じ高さになるまで排水口を切断してください。
● 真下排水パイプが排水口の底に当たるときや、排水口の底との間にすき間がないときは、真下排水パイプ先端(エルボ側)を切り、調整してください。



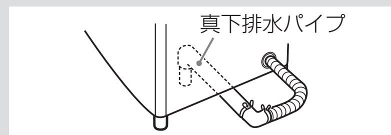
3 真下排水パイプと排水ホースを接続する

● 排水ホースが長すぎるときは、ホースを段部で切断し、たるまないように調整してください。
(重ねたり、折り曲げたりしないでください)
● 真下排水パイプの外周と排水ホースの内周に、真下排水パイプ付属の接着剤を均等に塗り、差し込んだ後、ホースバンドで固定してください。



4 真下排水パイプを排水口に確実に取り付ける

● 真下排水パイプは台板の外周から出して使ってください。
● 真下排水パイプは浮きがないように取り付けてください。排水異常や異常音の原因となります。



5. 給水ホースの取り付け

●給水ホースと付属品のホース継手を確実に取り付けないと、水漏れの原因になります。
●水栓への給水ホースの取り付けには、必ず付属品の「ホース継手」を使ってください。
●ワンタッチ給水栓ジョイントがすでに水栓に取り付けられているときや、水栓が横水栓以外のときは、必ず別売の「給水栓ジョイント（CB-J6）」に取り換えてください。取り換えないと給水ホースがはずれて思わぬ被害を招くことがあります。
＊取り付けが確実にできないときや、水漏れが発生するときは、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

⚠注意

水漏れ確認

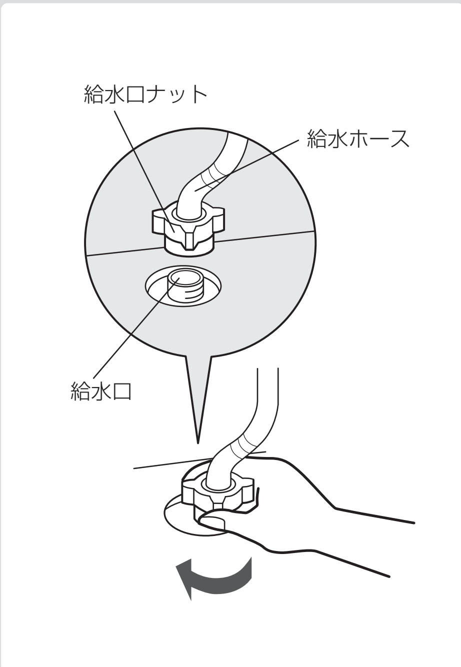
洗濯前に水栓を開き、給水ホース接続部のゆるみや水漏れのないことを確認する

ネジやホース接続などがゆるんでいると、水漏れして床などの家屋や家具などをぬらしたり、破損したりすることがあります。

■給水ホースの本体への取り付け

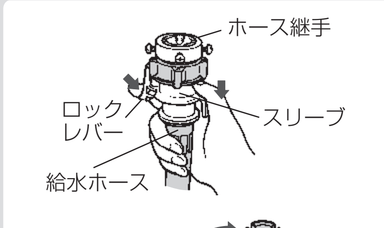
1 給水ホースを本体の給水口に取り付ける

- 給水ホースの先についている給水口ナットを本体の給水口のネジにかぶせて、しっかり締め付けます。



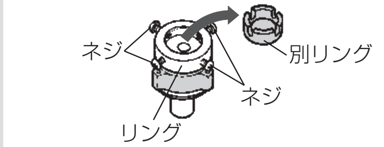
■ホース継手の取り付け

1 給水ホースのロックレバーを押しながらスリーブを引き下げ、給水ホースからホース継手をはずす



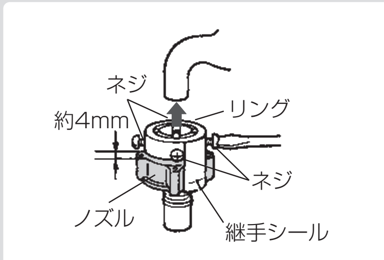
2 ホース継手の4本のネジをゆるめる

- 蛇口の直径が大きいときは、ホース継手の4本のネジをゆるめて別リングをはずしてください。



3 ホース継手を蛇口に押し当て、ネジ4本を均等に締めたあと、継手シールをはがす

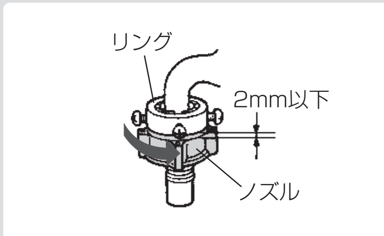
- このときノズルとリングのすき間が約4mmであることを確認してください。
- 壁側のネジ1本をあらかじめ調整しておくと取り付けやすくなります。
- 取り付けるときは、水栓がパッキンの中心になるようにネジを均等にしっかり締め付けてください。



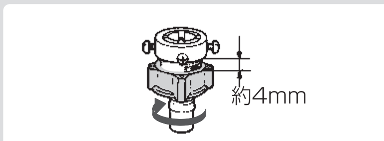
4 ノズルを右に回して締め付ける

ノズルとリングのすき間が2mm以下であることを確認する

- ノズルとリングのすき間が広いと水漏れのおそれがあります。
- 使用中に水漏れするときは、ノズルをさらに締め付けてください。
- ホース継手のネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても水漏れするときは、ホース継手を取り換えてください。取り換えについては東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。



お願い
- 引っ越しなどで再びホース継手を取り付ける場合は、水漏れを防ぐため、ノズルとリングのすき間が約4mmになるようにノズルを矢印の方向へ回してゆるめてから、上の手順に従って取り付けてください。

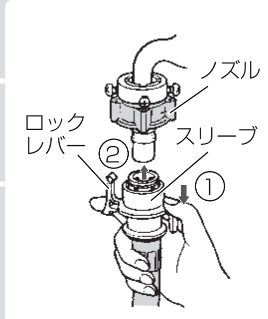


■給水ホースとホース継手のつなぎかた

1 スリーブを引き下げたまま、給水ホースを差し込む

2 スリーブを離し「パチン」と音がするまで押し上げる

3 ロックレバーがノズルに掛かっていることと、ホースを下に引いても抜けないことを確認する



4 本体の電源は入れないで、水栓を開きホース継手などから水漏れがないことを確認する

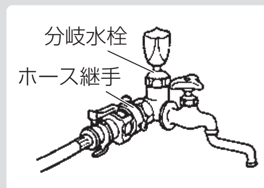
- 水を通した後ホースをはずすと水が飛び散ります。取扱説明書の「給水ホースのはずしかた」を参照してください。
- 給水ホースを延長するときは、別売の給水延長ホースを使用してください。

■水栓の形状：横水栓が適しています。



- 自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ給水栓に取り付けの場合は、別売の「給水栓ジョイント（CB-J6）」を使用してください。
- 緊急止水弁付洗濯機用水栓で、当社の継手と合わないものがありますので確認してください。

お願い
- 確認終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 水栓が合わない場合は、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。
- 給湯器設備には取り付けないでください。
- 洗濯機専用水洗の設置には、別売の「分岐水栓（JB-11）」のご利用をおすすめします。



6. 水平・ガタつきの確認と調整

⚠注意

禁止

本体底面に手や足などを入れない

回転部などがあり、けがをするおそれがあります。

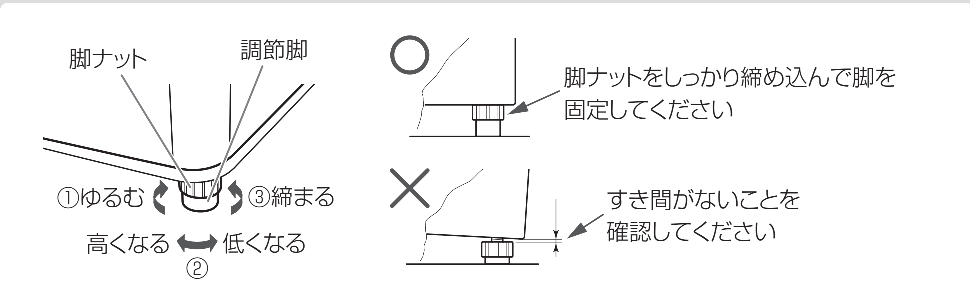
■**設置するときは、本体が水平になるように調整し、ガタつかないように脚で調整してください。**
本体手前の右側の脚が調整可能です。

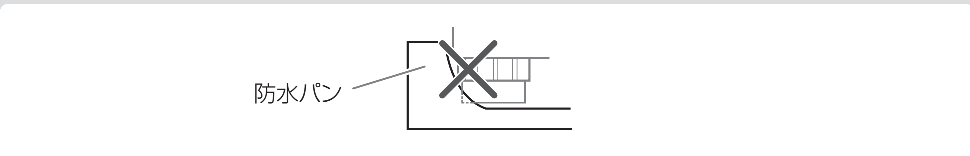
■**設置場所が狭く調整しにくいときは、設置場所の手前で一旦調整しておき、設置後に再調整することをおすすめします。**

■**脚の調整は、本体の上部を支えながら行ってください。**
本体底部は持たないでください。

1 ガタつかないよう脚を調整する

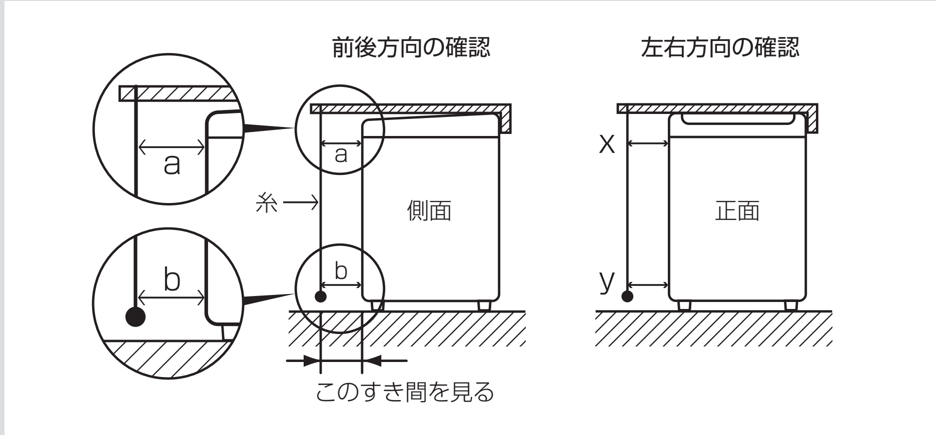
- 調整した後は必ず脚ナットを③の方向に回してしっかり固定してください。
  また、本体前側の底部が床に当たったり、防水パンのコーナー部などに乗り上げたりしないようにしてください。振動や異常音の原因になります。





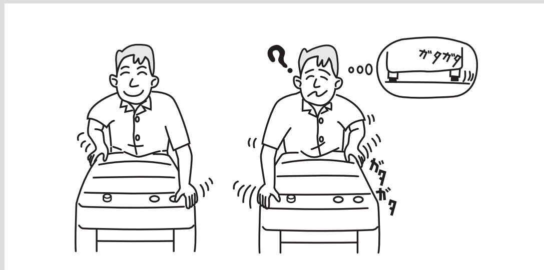
2 本体が水平になっているか確認する

- おもりを付けた糸を下げます。
  a、bおよびx、yのすき間の差が1cm以下になるように調整します。



3 本体の対角線上の角を押して、ガタつきがないか確認する

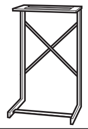
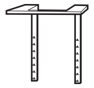
- ガタつきがあると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。
  ガタつきがあるときは、もう一度調整してください。



7. 衣類乾燥機とセットで使うとき

衣類乾燥機の取扱説明書に従って据え付けてください。凍結したり、ホースがつぶれたりしていると排水できないため、衣類乾燥機をお使いになる前に確認してください。

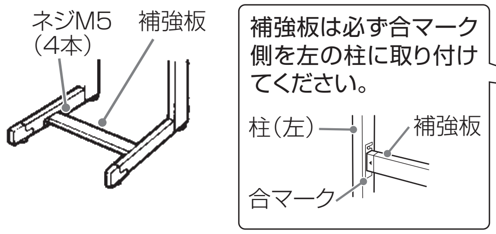
■使用できるドライヤースタンド

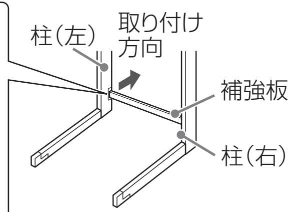
スタンドの種類		防水パン	設置の可否
自立式 ※		なし	○
		あり	△　防水パン奥行(内寸)55cm以上必要
直付け式		なし／あり	×　設置できません

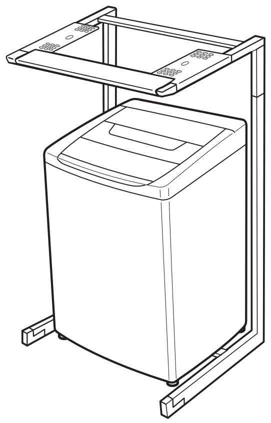
※DS−F1、62は設置できません。

■洗濯機に合わせてスタンドの幅や高さを調整します。

- 洗濯機の幅と高さに合わせて締め付け位置を調整します。詳しくはスタンドの取扱説明書をご覧ください。
  ドライヤースタンドDS−72、58、57、56、55のいずれかをお使いのときは、補強板を後側に取り付け直してください。



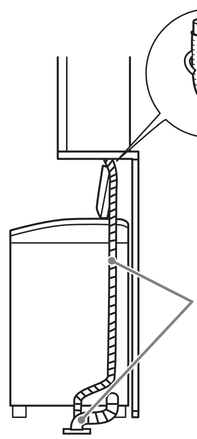




■衣類乾燥機の排水ホースと洗濯機の排水ホースをつなぐときは

本機種には乾燥機用排水口はありません

- 別売の「衣類乾燥機排水ホース(1.5m)」を使って、防水パンや排水口に排水してください。
- 衣類乾燥機と洗濯機の排水ホースをつなぐときは、別売の「排水ジョイントセット(DJS-1)」をお使いください。
  排水口が真下にあるときは、別売の「真下排水パイプ」と「排水継手1」(部品コード42041112)が必要です。
- **衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたに当たるときは**
  別売の「乾燥機用S字フック」(一部の衣類乾燥機には付属)を排水ホースにセットしてから衣類乾燥機の排水口に差し込みます。



8. アース線の取り付け

⚠警告

アース線を取り付ける
(漏電時に感電する原因)

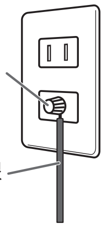
アース線取り付け　アース工事は、必ず販売店に依頼してください。

お願い

- ガス管、電話線や避雷針、水道管にはアースを取り付けないでください。
  (法令で定められています)

■感電防止のために、アース線をアース端子に取り付ける

- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



■アース端子がないときは

- 電気工事店、またはお買い上げの販売店にアース端子の設置工事をご依頼ください。アースは法令により、電気工事士によるD種接地工事が義務付けられています。(有料)

9. 電源コードの接続

⚠警告

禁止

次のことはしない
(火災・感電・けがの原因)

- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
- 電源コードを傷付けない
  ・破損させない
  ・加工しない
  ・引っ張ったり、無理に曲げたりしない
  ・ねじったり、束ねたりしない
  ・重いものを載せたり、はさみ込んだりしない
  ・金属のものに引っ掛けない
  ・熱器具に近づけない
- 延長コードの使用、テーブルタップなどによるタコ足配線はしない

指示

次のことを守る
(火災・感電・けがの原因)

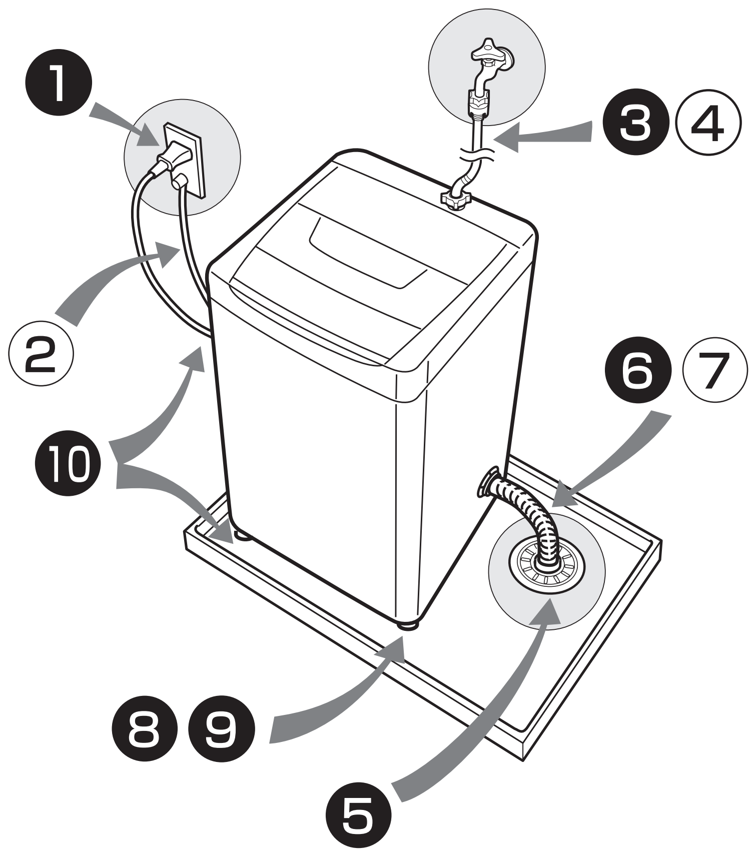
- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

10. チェック項目

■設置が完了したら、以下のチェック項目を確認してください。

正しく設置しないと異常振動・騒音や水漏れの原因になります。

●印の番号は電話でのお問い合わせが多い項目です。



電源コード

チェック	
	❶ 交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使っていますか？ コンセントのゆるみや電源コード・プラグの傷みはありませんか？

アース線

チェック	
	② アース線は取り付けてありますか？ 感電防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

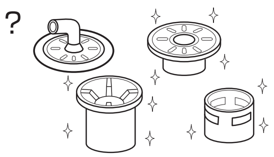
給水ホース

チェック	
	❸ 水栓や本体の給水ホース接続部に水漏れはありませんか？

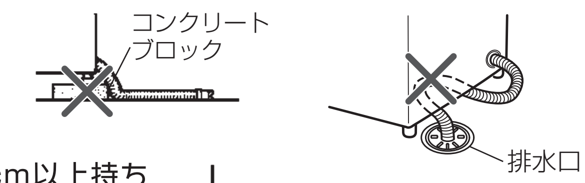
チェック	
	④ にごった水が出ませんか？

排水ホース

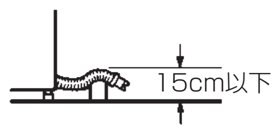
チェック	
	❺ 排水口に糸くずなどのゴミがたまっていませんか？ 排水口は定期的にチェックしてください。



チェック	
	❻ 排水ホースが本体の下に入っていませんか。また、よじれ、つぶれはありませんか？

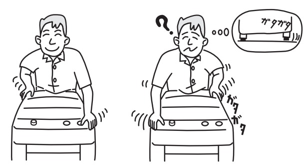


チェック	
	⑦ 排水ホースが15cm以上持ち上がっているところはありませんか？

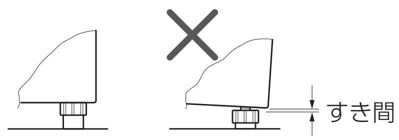


本体

チェック	
	❽ 本体の対角線上の角を押したときにガタつきがありませんか？



チェック	
	❾ 脚ナットはしっかり締まっていますか？



チェック	
	❿ 試運転で異常音や水漏れはありませんか？ 正常に排水されていますか？ （電源コード、アース線、ホースが本体に接触していませんか？）

11. 試運転の実施

■「洗い」「脱水」の運転を確認してください。

1	電源プラグを差し込み、水栓を開き、給水ホースや接続部から水漏れがないことを確認します。
2	ふたを閉め、電源「入／切」ボタンを押して電源を入れ、「スタート／一時停止」ボタンを押します。
3	パルセーターが左右に回転し、水位を表示し、給水が始まります。
4	「水位」ボタンを押し、1番上の水位「43L」を選びます。（給水終了後ふたがロックされます）
5	約5分間運転し、異常音、水漏れがないことを確認します。「スタート／一時停止」ボタンを押し、ふたロックが解除されることを確認します。
6	電源「入／切」ボタンを押し、電源を切ります。
7	電源「入／切」ボタンを押し、電源を入れます。
8	ふたを閉めて「行程」ボタンを3回押し、「脱水」に設定し、「スタート／一時停止」ボタンを押します。ふたがロックされます。
9	排水が始まります。排水口、排水ホースから水漏れがないことを確認します。
10	脱水を約3分間運転し、異常音、異常振動がないことを確認します。 ＊モーターは通電による制御をするため、モーター音が一定ではないですが、異常ではありません。
11	「スタート／一時停止」ボタンを押し、ふたロックが解除されることを確認します。 （「スタート／一時停止」ボタンを押してから、ふたロックが解除されるまで、約70秒かかります）
12	電源「入／切」ボタンを押し、電源を切ります。

以上で試運転は終了です。

E0700